

■三宅花圃 小説家・随筆家。処女作で近代文学史上最初の女流作家となり、一葉に活躍の場を与えるも、以後は目立たず。

みやけかほ

明治維新・ 1868＝ 東京本所番場に生れる。本名竜子。旧幕臣でのち元老院議員田辺太一(号蓮舟)の長女。母は己巳子。

明治6年政変 1873＝ 5歳：

初の民間工場1875＝ 7歳：麹町小学校に入り、 跡見花隠の塾で書道を学んだ。花圃と名のつたのは花隠の名にちたむものである。このころから伊東祐命に国学と和歌を学び、

西南戦争・ 1877＝ 9歳： 中島歌子の塾(萩の舎)に入った。萩の舎では樋口一葉と同門。

・ ・ ・ ・ ・ 1880＝12歳： 短編「五人女」を書き、

明治14年政変 1881＝13歳：

新体詩抄・ 1882＝14歳： 桜井女学校入学。

帝国大学始・ 1886＝18歳： 明治女学校入学、英語を学ぶかわら書道を教えたが間もなく東京高等女学校専修科に入った。

初の対等条約1888＝20歳： 坪内逍遙の「当世書生気質」に刺激され、
*逍遙の校閲と推薦を得て、金港堂から「藪の鶯」を刊行、一躍有名になる。この一作で花圃は近代文学史上最初の女流作家となった。

帝国憲法発布 1889＝21歳： 東京高等女学校を卒業。

帝国議会始・ 1890＝22歳： 女学雑誌に「盧のふし」、{都の花}に「八重桜」などを発表、

大本教・ ・ ・ 1892＝24歳： 短編集「みだれ咲」を夢借舎丁々子の名で刊行。{日本人}を主宰する三宅雪嶺と結婚、2男3女をもうける。

郡司千島探検 1893＝25歳： *{文学界}の創刊にあたり、花圃は同門の一葉を推薦して活躍の場を与えると同時に、自分も「露のよすが」「萩桔梗」「蛇物語」などの短編を発表。

日清戦争始・ 1894＝26歳：

日清戦争終・ 1895＝27歳：
処女作をしのぐ作品はなく、以後は、歌人・随筆家として活躍する。

田中正造直訴 1901＝33歳： 野村望東尼の伝記「もとのしづく」、

日露戦争始・ 1904＝36歳：

日露戦争終・ 1905＝37歳：

伊藤博文暗殺 1909＝41歳： 歌文集「花の趣味」、

明治天皇没・ 1912＝44歳：

大正政変・ ・ ・ 1913＝45歳：

第一次大戦始 1914＝46歳： 随筆集「その日その日」などがあり、

大暴落・ ・ ・ 1920＝52歳： 雪嶺とともに{女性日本人}を発刊、

原敬首相暗殺 1921＝53歳：

水平社結成・ 1922＝54歳：
以後、ほとんど毎号に婦人問題についての感想・随筆を発表する。

満州事変・ ・ 1931＝63歳：

日中戦争始・ 1937＝69歳：

大政翼賛会・ 1940＝72歳：

日米開戦・ ・ 1941＝73歳：

創価学会検挙 1943＝75歳： 没した。